

小樽南ロータリークラブ会報

ホームページ <http://rid2510.org/otarusouth/>

06
2013年8月9日発行

昭和35年2月5日

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2013-2014年度 Rotary International テーマ



Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

ロン D. バートンRI会長

強調事項 RI第2510地区 安孫子 建雄 ガバナー (江別RC)

- ロータリーの基本を見つめ 変革するロータリーを实践しよう
- 「RIテーマ<ロータリーを实践し みんな豊かな人生を>の理解を深めクラブと地域そして世界で活躍するロータリアンになろう」

●本日8月9日(金)のプログラム

- ◎「まち育てふれあいトーク」
小樽市の台所事情 (市の財政状況)
小樽市財政部財政課長 佐々木 真一氏

●来週8月16日(金)のプログラム

- ◎休 会
クラブ定款第6条第1節C項

●再来週8月23日(金)のプログラム

- ◎「臨時総会」活動報告書
- ◎新入会員卓話 富永 会員

●第5回例会報告 8月2日(金) 「卓 話」 米山副委員長(増強)・松浦ロータリー財団委員長

■国歌斉唱 ■「君が代」

■ロータリーソング ■「それでこそロータリー」

■ビジター・ゲストの紹介 ■

杉江 俊太郎氏 (小樽RC会長)

李 アルムさん (米山奨学生)

■米山奨学生奨学金授与 ■ 吹越会長

- ・先週親睦がありまして塩谷海岸でのバーベキューパーティに参加しましたが景色も素晴らしくお肉もとても美味しくいただきました。この夏にもう一度皆様方とも機会がありましたらバーベキューパーティがしたいです。



■会 長 報 告 ■ 吹越会長

- ・先週のガバナー公式訪問には、各理事・役員・委員長方々におかれましては早い時間からのご参加誠に有難うございました。また舩井ガバナー補佐より、安孫子ガバナー共々潮まつり参加への感謝のお電話を頂戴致し、本日杉江小樽RC会長からも後ほど「潮まつりへのお礼参り」のご挨拶がございます。
- ・8月は会員増強および拡大月間です。今年度目標の一つ「増強」は全会員で取り組むべきテーマでございまして、是非今年度目標の全委員会1名づつの新会員増強にご協力のほどを切にお願い申し上げます。

■幹 事 報 告 ■ 山村幹事

- ・ガバナー事務所からの連絡：2013年4月に規定審議会においてクラブ定款が改正されております。第9条出席規定等が変更になっておりますが、詳しくは出席委員会に関係書類を渡しておりますのでご確認ください。
- ・例会終了後、別室にて理事会を開催します。
- ・国際ロータリー事務所より、日韓親善協議会開催につきまして書類が届いております。受付において於きます。
- ・小樽RC例会変更のお知らせ
8/13「休会」 8/27 夜間例会 点鐘 17:45~
- ・親睦委員会より、8/30 (金) 点鐘6:20「早朝例会」(夫人同伴) 場所:真正寺のご案内 本日FAXにてお知

らせいたします。

- ・10/20開催の地区大会への出席会員現在31名の会員方々の登録があります。8/5が第一次登録メ切り日となっております。

■ご 挨拶 ■ 杉江小樽RC会長

- ・潮まつりの練りこみに当初80名若の参加を目論んでおりましたが、当日100名にもせまご参加をいただき80枚ほど用意しました「青い法被」が不足になる位の盛況でありました。貴クラブのご協力を深く感謝申し上げます早速吹越会長には電話にて御礼を申し上げましたが本日 居ても立ってもおられず直接みな様方に再度御礼を申し上げるべく参上いたしました。特に、昭和3年生まれの小樽南RCの岩船会員にはスタートからゴールまで踊っていただき、また貴クラブ吉川チャーターメンバーには御会社店先にて温かい激励をいただきました重ねて厚く御礼を申し上げます。この一年間よろしくお願ひ申し上げます。



■頑張れ！北照高校野球部 ■

- 8月8日から開幕します第95回全国高校野球選手権記念大会に地元小樽の北照高校が出場することになりました。新世代奉仕・社会奉仕の一環として例会出席の会員方々に「ザル回し」し当日54,000円の浄財がありました。丹羽様より謝辞を頂きました。



■会員誕生祝 ■ 8月生まれの会員

- 2日 濱本会員 8日 石上会員 11日 小林会員
- 13日 見延会員 18日 本間(彰)会員 29日 鳥井会員



●例会プログラム

会員卓話

「地区増強セミナーに参加して」

米 山 副委員長 (増強)



地区主催の会員増強セミナーはこのところ毎年開催され、今回で4回目を迎え今年は江別の札幌学院大学が会場各クラブからの出席者は指名でありクラブ会長・会員増強委員長・出席希望者が他に1名認められている。出席者数は71クラブより大体1～2名で約140名位6分区分からは1欠席、地区としては6クラブが欠席出席率84.5%でセミナーとしては高率の出席率だった。

《地区会員増強の現況報告では次のように報告されました》

過去10年間(2003-2012)で3340名から2570名に770名の減少である。ただし女性会員が増加現在117名 今後の増強の課題として、I. 女性会員の増強。II. 年配者に配慮しながらも若い人の増強。又、最重要課題として退会防止がある。I. 昨年一年間の入会者207名 退会者147名。退会理由としては転勤によるのが一番多いが、次ぎに多忙の為に退会者が多い事である。I. 日本の場合昼の例会が90%以上世界的には昼が45%、夜が55%。II. 退会防止の為に夜の例会も一考。

《講演 第2750地区(PG) 市川伊三夫氏(東京銀座RC)》

国際的な視野から感動的な「出会い」の例を幾つか話されていた。

- I. ロータリーに入会して多くの人に助けられサポートされた。例会に出席することは、ロータリーの宝である。
- II. 多くの人達に囲まれた人生は素晴らしいその素晴らしい出会いを貰ったお返しに常に人の為、世の為に生きようと思っている又そうしている。
- III. サミエルウルマンの詩を引用しながら、或る程度の緊張感を持って生きることが大切な事だ。

(紙面の都合上、箇条書きにさせていただきました。)

ロータリー財団の未来の夢計画について

ロータリー財団 委員長 松浦光紀

2017年のロータリー財団100周年に向けて、ロータリアンのニーズに応えながら、慈善活動分野において財団が時代に即した存在であり続けるために進化を遂げるときがきました。未来の夢計画は財団の使命 所謂 「健康状態を改善し、教

育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を育成できるようにする」という使命の元に、「他の非政府系組織とのパートナーシップを通じて大きな成果を生む人道的プログラムを実施して、ロータリーの公共的イメージを高める」という意欲的な目標に向けてチャレンジして行きましょうということでもあります。

具体的にはポリオを撲滅し、国際親善奨学金や人道的プログラム、職業研修チーム派遣など6つの重点分野でロータリーの実績を上げるよう努力しましょうということでもあります。

1. 平和と紛争予防、解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展

夢計画の目的の一つに、「世界的な目標と地元の目標の両方を果たすための資金提供すること」とあります。このことは、地区並びにクラブに意志決定権を移行することにより地区裁量権の拡大を図り、財団が自分たちのものであるという自覚を高めることを目論んでいることです。

また、従来のプログラムは、1. 国際親善奨学金 2. 研究グループ交換 3. マッチンググラウンド 4. 地区補助金でしたが、手続きを簡素化するため、新地区補助金とグローバル補助金2種類のみを簡素化しております

新地区補助金は、6種類の重点分野と関連している必要はなく、クラブと地区に幅広い選択肢があたえられており、地元や海外の小規模な活動やプロジェクトへの利用のために意図されています(30万円位が上限)。

グローバル補助金は、例として挙げれば、6種類の重点分野に集中し、国際親善奨学金(1年から4年奨学金300万円以上)、国際的な人道的プロジェクト(150万円～200万円)、国際的な職業研修チームなどが挙げられます

当クラブは、岡崎年度において「未来を語る夢会議」を開催し、クラブ運営や奉仕活動などを提案いたしました。このプロジェクトは、吹越会長、加藤次期会長(国際奉仕委員長)が参加する理事会において承認されております。(仮称・小樽市民国際交流会議)

クラブ活動に対しましては、ロータリーは、CLP(クラブリーダーシッププラン)を推し進められてきております。当クラブにおいてもCLPに沿った改革を進めています。時代に即した存在であり続けるには進化を遂げなければなりません。ニーズを検討し、奉仕活動を達成するためには単年度では難しいことも多くあります。複数年度継続して計画を立案し遂行する姿勢が今求められています。ご協力をお願いいたします。



■出席委員会

●平成25年8月2日

会員総数	69名	本日の欠席者	11名
荒木、石上、加藤、角野、齊藤、高木(成)、山谷、野村、新倉、前川、坪井			

●平成25年7月19日

会員総数	69名	出席摘要免除者数	16名
------	-----	----------	-----

病欠者	0名	出席計算員数	名
ホーム欠席者数	15名	メーカーヤップ数	3名
純欠席者数	12名	確定出席率	81.5%

■メーカーヤップ

7/27 上野、新倉(委員会)
7/30 鈴木、矢野(小樽RC)